

2021年（令和3年）
5月19日号 No.291

こちら

119

消防テレホンガイド

☎ (333) 3636

火災・地震・気象など各種情報をお伝えします

火災・救急件数（4月末日 現在）

◆火災	24 件【前年比	-3 件】
◆救急	7,199 件【前年比	-74 件】

年5回(5・8・10・12・2月)発行

発行 市川市消防局
〒272-0021市川市八幡1丁目8番1号
TEL047-333-2111(代)FAX047-333-8181
ホームページ <http://www.city.ichikawa.lg.jp/>
※右のQRコードから消防局のホームページへ直接アクセスできます。

▼QRコード



市川市の安全と安心を守る 新型救助工作車運用開始

最新鋭の資機材に加え、市川市消防局初のバス型救助工作車で、車内スペースの広さが大きな特徴です。広い車内で準備でき、より迅速な活動が可能となりました。

西消防署の特別救助隊は一昨年4月、それまで配置されていた、化学テロ等に対応する機動化学隊の装備・技術を受け継ぎ、さらに幅広い災害に対応するために発足しました。

これからも消防局は、市民の皆さまの安全と安心を守るべく活動していきます！



市川市消防局初のドローン導入

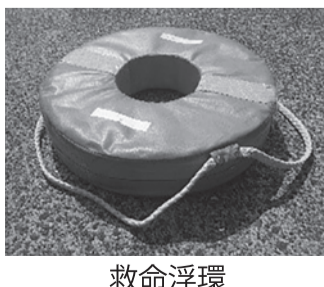
近年、玩具や撮影機材として話題のドローンですが、その高い性能に注目し、災害現場への導入が進んでいます。消防局では新型救助工作車の配備と時を同じくして、災害用ドローンが導入されました！

災害用ドローンによる活動とは？

- ・上空からカメラ撮影することにより、目標の全体像や要救助者を確認する等、地上からでは難しい情報収集を行うことができる。
- ・資機材搬送が可能な大型ドローンは、離れた場所にいる要救助者に救命浮環を搬送する等、救出活動の補助を行うことができる。

これにより、夏場に多発する水難事故に際し、要救助者をいち早く発見し、救命浮環を投入する等の救助活動も期待しています。

現在は、秋の運用開始を目指し隊員の訓練を実施しています。



救命浮環

水難事故に注意してください

夏は海や山、河川等アウトドアレジャーの機会が増える季節です。加えて新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況の中、「密」を避けるため、アウトドアの機会も増えると思います。

海や河川でのレジャーを楽しむ際には次のことに十分注意してください。

- 飲酒して海や河川に入ることは絶対にしない。
- 天気が良くても河川が増水し始めたら水の中に入らない。
- 河川の上流域で集中豪雨などによる、急な増水に注意する。
- 釣りをするときは、ライフジャケットを身に着ける。



水難救助隊による河川での水難訓練風景

共同住宅や勤務先に設置されている 消火器は大丈夫ですか？

消防法令に基づいて設置されている

旧規格消火器は 2021年12月31日 までに交換が必要です。



適応火災のマークが
「文字表示」の消火器は、
新規格消火器に 2021年12月31日
までに交換してください！



資料提供元 一般社団法人 日本消火器工業会

※本内容は、家庭用消火器のことではありません。
※消防局が消火器の販売をすることはありません。消火器の交換に乗り、悪質な販売が行われる可能性がありますので、ご注意ください。

いらなくなった消火器はどうすればいいの？

- ・**買い替えの場合**は、販売店にご相談ください。
- ・**処分のみの場合**は、消火器リサイクル推進センターのリサイクルシステムをご利用ください。以下の3つの方法があります。

※**特定窓口に直接持ち込む。**

※**特定窓口に引き取りを依頼する。**

- ・リサイクルシール代、運送、保管費用が必要です。
- ・特定窓口は、消火器リサイクル推進センターのホームページから検索できます。

※**郵送する。**

- ・ゆうパック専用コールセンター(電話0120-822-306)へお申し込みください。

※**エアゾール式簡易消火器は対象外です。**

※詳しくは消火器リサイクル推進センターのホームページをご覧ください。

(URL: <https://www.ferpc.jp/>)



QRコード

<お問い合わせ先>

消火器リサイクル推進センター 電話03-5829-6773

受付時間 午前9時から午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2021年度 全国統一防火標語

「おうち時間 家族で点検 火の始末」

新しい救命講習会が始まります

新型コロナウイルス感染拡大により、開催を一時中止しておりますが、必要な感染予防策を行った上で救命講習会を再開する予定です。
講習の内容も新型コロナウイルス感染症に対応した心肺蘇生法になりました。

● Web講習が始まりました



応急手当Web講習(e-ラーニング)を家庭のパソコン、タブレットPC、スマートフォンなどから事前に受講し、消防局で実技のみを行う講習会です。

● 従来の救命講習会もリニューアル

受講者1人に対して訓練用人形を1体使用して実施することにより、これまで3時間で行っていた講習を2時間でできるようになりました。

インターネットが使用できない方はこちら

問い合わせ、詳細は電話または市川市公式Webサイトにてご確認ください。

☎047-333-2111(音声ガイダンス②番)救急課

室内でもしっかりと熱中症対策を

例年、5月頃から気温が上昇し始めるため、熱中症による救急搬送件数が増加します。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、外出を控え自宅で過ごされる方も多いと思いますが、救急搬送件数は、令和元年は162件、令和2年は168件と、大きな変化はありませんでした。

直射日光を浴びない屋内においても、体の水分は失われていきます。しっかりと対策をとり、熱中症を予防しましょう。

予防のポイント

○しっかりと室温を調整する!

エアコン、扇風機、遮光カーテン、すだれなどを使用し室温を調節しましょう。節電を意識しすぎるあまり、エアコンの使用を控えたり、「このくらいなら大丈夫」と我慢はしないでください。



○水分補給は計画的に!

入浴中や睡眠中、日々の生活の中でも、体の水分は失われていきます。のどが渇いたと感じる前に水分補給をしましょう。

お茶やお酒は利尿作用があるため、水分補給の効果が得られにくくなります。スポーツドリンク等で塩分や糖分をしっかりと補給してください。



○暑さに備えた体づくりを!

日頃からランニングやウォーキングで汗を流し、暑さに慣れることで、熱中症にかけにくい体を作りましょう。